

決算補足説明資料

2016年度（2017年3月期）第1四半期 決算概要

2016年7月28日

阪急阪神ホールディングス株式会社

9042 <http://www.hankyu-hanshin.co.jp/>

連結損益比較表（サマリー）

	2016年度1Q末	2015年度末	
連結子会社	95社	93社	+2社 ← 増加：2社
持分法適用関連会社	10社	10社	-
計	105社	103社	+2社

（単位：百万円）

	2016年度 1Q累計	2015年度 1Q累計	比較増減	増減率	備考
営業収益	177,343	174,970	+2,373	+1.4%	次ページ参照
営業利益	28,674	28,253	+420	+1.5%	
営業外収益	3,303	3,646	△343		
営業外費用	3,669	3,561	+108		
経常利益	28,308	28,339	△31	△0.1%	
特別利益	1,019	494	+524		
特別損失	1,484	947	+536		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	19,815	18,552	+1,262	+6.8%	

（注）当期より国際輸送事業の輸出混載貨物に係る取引等について、営業収益の計上方法を純額表示から総額表示に変更しています。
この変更に伴い、前年同期の営業収益については、遡及適用後の金額（総額表示）となっています。なお、この変更による利益への影響はありません。

（参考）

減価償却費	12,816	12,903	△86
金融収支（A） - （B）	△2,362	△2,620	+257
受取利息及び配当金（A）	548	595	△47
支払利息（B）	2,911	3,216	△305

セグメント別営業成績（サマリー）

当期業績のポイント : 国際輸送事業が物流需要の落込み等により減収となったほか、旅行事業が「平成28年熊本地震」の影響等により低調に推移したものの、不動産事業においてマンション分譲の収入が増加したことや、都市交通事業において鉄道の阪急線・阪神線が堅調に推移したこと等により、増収・増益

(単位：百万円)

	都市交通	不動産	エンタテインメント・コミュニケーション	旅行	国際輸送	ホテル	その他	調整額	連結
営業収益									
2016年度1Q累計	60,197	47,020	29,928	6,744	17,654	16,185	8,302	△8,689	177,343
2015年度1Q累計	59,526	42,739	28,691	7,766	20,503	16,770	7,015	△8,043	174,970
比較増減	+670	+4,280	+1,237	△1,022	△2,849	△584	+1,287	△645	+2,373
営業利益									
2016年度1Q累計	12,417	9,854	6,936	△831	218	700	114	△735	28,674
2015年度1Q累計	11,892	9,440	6,623	2	350	889	△199	△744	28,253
比較増減	+525	+414	+313	△834	△132	△188	+313	+9	+420

(注) 当期より国際輸送事業の輸出混載貨物に係る取引等について、営業収益の計上方法を純額表示から総額表示に変更しています。

この変更に伴い、前年同期の営業収益については、遡及適用後の金額（総額表示）となっています。なお、この変更による営業利益への影響はありません。

都市交通セグメント

鉄道事業において沿線人口や訪日外国人旅行客の増加等により阪急線・阪神線が堅調に推移したことに加え、バス事業において2016年3月に尼崎市交通局から運行路線を譲り受けたこと等により、増収・増益

(単位：百万円)

	2016年度1Q累計	2015年度1Q累計	比較増減	増減率
営業収益	60,197	59,526	+ 670	+ 1.1%
営業利益	12,417	11,892	+ 525	+ 4.4%

不動産セグメント

前年同期に事業用地を売却した影響があったものの、当期に高価格帯マンションを分譲したことや、梅田地区の賃貸ビルが堅調に推移したこと等により、増収・増益

【参考】マンション分譲戸数[※]△34戸（前年同期190戸→当期156戸） ※当社グループの持分戸数

(単位：百万円)

	2016年度1Q累計	2015年度1Q累計	比較増減	増減率
営業収益	47,020	42,739	+ 4,280	+ 10.0%
営業利益	9,854	9,440	+ 414	+ 4.4%

《都市交通》 鉄道運輸成績

《阪急電鉄》

	収 入				人 員			
	2016年度1Q累計	2015年度1Q累計	比較増減	増減率	2016年度1Q累計	2015年度1Q累計	比較増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%	千人	千人	千人	%
定期外	15,770	15,674	+96	+0.6	80,266	79,743	+522	+0.7
定期	8,424	8,337	+86	+1.0	86,794	85,874	+920	+1.1
うち通勤	7,122	7,035	+87	+1.2	58,236	57,433	+802	+1.4
うち通学	1,301	1,302	△0	△0.0	28,558	28,440	+117	+0.4
合計	24,194	24,011	+183	+0.8	167,061	165,618	+1,442	+0.9

《阪神電気鉄道》

	収 入				人 員			
	2016年度1Q累計	2015年度1Q累計	比較増減	増減率	2016年度1Q累計	2015年度1Q累計	比較増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%	千人	千人	千人	%
定期外	5,340	5,253	+87	+1.7	29,477	28,962	+514	+1.8
定期	2,943	2,899	+44	+1.5	30,713	30,255	+457	+1.5
うち通勤	2,613	2,575	+38	+1.5	23,834	23,513	+321	+1.4
うち通学	330	324	+5	+1.8	6,878	6,742	+135	+2.0
合計	8,284	8,153	+131	+1.6	60,190	59,218	+971	+1.6

- (注) 1. 収入は百万円未満を、人員は千人未満をそれぞれ切り捨てて表示しています。
 2. 阪急電鉄の定期外収入・人員には、P i T a P a 区間指定割引運賃適用の収入・人員を含んでいます。
 3. 阪急電鉄・阪神電気鉄道ともに、第1種鉄道事業及び第2種鉄道事業の合計です。

エンタテインメント・コミュニケーションセグメント

スポーツ事業において、阪神タイガースの公式戦の入場人員が増加したことや、飲食・物販売上が好調に推移したことに加え、インターネットスポーツ中継サイトへのライブ配信を開始したこと等により、増収・増益

(単位：百万円)

	2016年度1Q累計	2015年度1Q累計	比較増減	増減率
営業収益	29,928	28,691	+1,237	+4.3%
営業利益	6,936	6,623	+313	+4.7%

旅行セグメント

国内旅行において、北海道新幹線の開業や四国お遍路の逆打ち等、話題性の高い方面の集客が堅調に推移したものの、「平成28年熊本地震」の影響により九州方面の集客が減少したほか、海外旅行において、国際情勢の悪化の影響を受け、特にヨーロッパ方面の集客が減少したこと等により、減収・減益

(単位：百万円)

	2016年度1Q累計	2015年度1Q累計	比較増減	増減率
営業収益	6,744	7,766	△1,022	△13.2%
営業利益	△831	2	△834	—

国際輸送セグメント

海外法人において、東アジア・アセアンは海上輸出を中心に堅調に推移したものの、米州・欧州は航空輸送に勢いが見られず弱含みで推移したことに加え、日本法人においても、物流需要の落込みにより航空輸送が伸び悩んだこと等により、減収・減益

	2016年度1Q累計	2015年度1Q累計	比較増減	増減率
営業収益	17,654	20,503	△2,849	△13.9%
営業利益	218	350	△132	△37.8%

(注) 当期より国際輸送事業の輸出混載貨物に係る取引等について、営業収益の計上方法を純額表示から総額表示に変更しています。

この変更に伴い、前年同期の営業収益については、遡及適用後の金額（総額表示）となっています。なお、この変更による営業利益への影響はありません。

ホテルセグメント

訪日外国人旅行客の増加と安定した国内需要を背景に、宿泊部門は堅調に推移したものの、婚礼宴会部門が低調に推移したことや、ホテル外でのレストラン等の運営を一部取り止めたこと等により、減収・減益

	2016年度1Q累計	2015年度1Q累計	比較増減	増減率
営業収益	16,185	16,770	△584	△3.5%
営業利益	700	889	△188	△21.2%

連結貸借対照表

(単位：百万円)

		2016年度1Q末	2015年度末	比較増減	備考																				
資産の部	流動資産	254,686	255,535	△849																					
	固定資産	2,017,528	2,026,644	△9,115																					
	資産合計	2,272,215	2,282,180	△9,965																					
負債の部	流動負債	445,657	456,134	△10,477																					
	固定負債	1,079,690	1,101,807	△22,117																					
	負債合計	1,525,347	1,557,942	△32,595																					
					<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2016年度1Q末</th> <th>2015年度末</th> <th>比較増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>借入金</td> <td>795,673</td> <td>795,010</td> <td>+663</td> </tr> <tr> <td>社債</td> <td>112,000</td> <td>112,000</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>リース債務</td> <td>9,406</td> <td>9,559</td> <td>△153</td> </tr> <tr> <td>連結有利子負債</td> <td>917,080</td> <td>916,570</td> <td>+510</td> </tr> </tbody> </table> <p>長期繰延税金負債 △15,152 (うち会計方針の変更による影響 △15,281)</p>		2016年度1Q末	2015年度末	比較増減	借入金	795,673	795,010	+663	社債	112,000	112,000	-	リース債務	9,406	9,559	△153	連結有利子負債	917,080	916,570	+510
	2016年度1Q末	2015年度末	比較増減																						
借入金	795,673	795,010	+663																						
社債	112,000	112,000	-																						
リース債務	9,406	9,559	△153																						
連結有利子負債	917,080	916,570	+510																						
純資産の部	株主資本	712,852	686,695	+26,157	親会社株主に帰属する四半期純利益 +19,815 会計方針の変更による影響 +15,281 自己株式 △5,069 支払配当 △4,413																				
	その他の包括利益累計額	17,116	20,639	△3,523																					
	新株予約権	490	424	+66																					
	非支配株主持分	16,407	16,478	△70																					
	純資産合計	746,867	724,237	+22,629																					